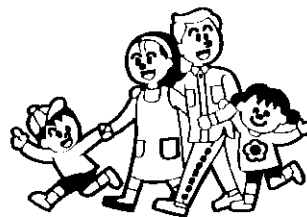


## 新吉田町地域交流イベント

# よつばホームの庭でにぎやかに



今年度始まって初日の4月1日、グループホームのある港北区新吉田町で恒例となった地域交流のイベントを行いました。早いものでもう5回目になります。グループホームの庭先に所狭しとガレージセールの品々が並び、軽食コーナーもしつらえました。入居している障害者や職員とともに、家族会のみなさんが大奮闘。たくさんのお客様の中には顔見知りも増え、地域への定着も感じられます。今年度の活気ある出発になりました。

### ・食品売り場より



4月1日(土)、今日はよつばホームの交流バザーです。お天気はまずまずです。

今年も町会よりテントやテーブルなどをお借りして、ゆっくり食事をなさる方々もおいでになるなど、のんびりとしたバザーでした。隣のコーナーでは、障害者とボランティアさんが、コーヒーやケーキを受け持っていました。早々に完売していたり、またそばのテーブルでは、職員がカレーライスやフランクフルトを焼いて売っていましたが、結構それも売れて、お客様が「テーブル」で召し上がって、のんびりと「バザー」を楽しまれたご様子でした。

回を重ねることで、おいでになる方々が多くなって盛会になるのですね。食品コーナーは鈴江さん、鈴木さんのお二方が販売してくださり本当にありがとうございました。たくさんの方々の「おてつだい」があつての結果でございます。ボランティアさんありがとうございました。感謝！（食品担当 福田定子）



### ・衣類 かばん 靴売り場より

「こんなにたくさん品物を…持ってきてくれるの」「連絡をいただいて取りに行くこともありますよ」天気にも恵まれた4月1日のバザーは、こんな会話で始まりました。衣類はハンガーに掛ける物と、その他の物は青いシートの上いっぱい広がることになりました。山積みの中から引っ張り出すのもまた楽しみの1つ!?あれこれと体にあててみた

り、友達に勧めたりする姿も多く見られました。「これお弁当の袋にいいわね」「これは……になるわ」と、はぎれの束から選び出すのも楽しげでした。カバンや靴もあり、ひとつひとつよく見て選んで…決まった時は、こちらニコリでした。今年も楽しい一日でした。ありがとうございました。(衣類担当 高島慶子)



・雑貨売り場から

当日は穏やかな日和に恵まれて、開場前から近隣のお客様がたくさんみえました。品物はたくさんあったのですが、スペースが少ないため箱から出して広げきれず一度にお見せできなかったのが少し残念でした。どうしても見えているものしか買っていただけないので、その辺が反省点となっています。ただ何度か見て買ってくださる方もあり、総売上はますます。純利益金は昨年を少し上回りました。これらの収益金は、地域で暮らす障害者たちの支援のために大切にに使わせていただきます。(雑貨担当 中村敏子)

**ご入会, ご継続 ありがとうございます**

[敬称略]

《会員》

富岡 久子	山田 きち	中村 敏子	花岡 満子	高島 慶子
阿部八重子	福田 定子	古田 節子	宮田 忠夫	高島勢津子
門脇 知子				

《賛助会員》

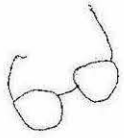
川島 仁子	花岡 元	渡辺 正恵	阿部 太二	山本 邦子
福島喜美代	吉田 博子	山田 秀夫	山田 玉枝	池田 フク
高橋 宏禎	高橋 えい	鈴木 玲子	黒澤 千草	福田 政江
笹瀬スマ子	不動 寿江	高島 誠	富岡 元道	小堀 正巳
山田千枝子	福田 徹	笠井満喜子	高島 稔	西富 房江
松山伊智子	鈴木 富子	佐藤 栄吉	桜井 徹	高木 節子
戸川嘉寿子	荒井 洋一	荒井奈津美	安田 章子	石阪勢津子
戸川 慶建	戸川 澄子	永澤 利子	高島 傑	
直井真紀子	寺田 借子	寺田 美奈	白川 淳子	

《賛助会員団体》

大原マネジメント研究所

《ご寄付》

高安アヤ子様	LLT/富岡元道様	富岡レイ子様	石井正雄様
--------	-----------	--------	-------



## めがねのこえ

この前 母と二人で沖縄へゆきました。

神奈川県肢体不自由児者父母の会と、神奈川新聞厚生文化事業団の主催する「車イス空の旅」に応募して当選したので、参加できました。

20組の障害者たちでしたが 障害の重い人も多く いろいろなタイプの人がいっている人たちがいるのだなとびっくりしました。

偶然に 七沢更生ホームの時の友だちとも いっしょになりました。

10年ぐらい前にもボランティアの友だちと一緒に旅行しましたが、そのときのスタッフの方たちとも久しぶりに再会できて 私は 驚いたり嬉しかったり「ゆうちゃん！」と声を掛けられてびっくりしたりしました。

\* \* \*

今は障害者も グループホームなどに 入る人が多くなりましたので、家族との旅行や一緒に過ごすことが少なくなったと思います。

自立しても それまで一緒に暮してきた家族は大切ですし 家になくなってもし一緒に楽しむことは したいと思うのですが、家族も 高齢になると 障害者を連れて出かけるのは たいへんです。今度のように家族とボランティアと一緒に旅行があれば みんな楽しめると思います。

ずっと施設に入っている友だちが お母さんと一緒に過ごしているのを見ると こういうことも良いな と思いました。

私は 「旅行は ただめずらしい物を見たり おいしい物を食べたり 自分だけで楽しむのでは面白くない。誰かと 話したり 一緒に楽しい時間を過ごすのがいい」と思います。出来ればこれからもそんな旅行がしたいな....

\* \* \*

沖縄では、ピオスの丘の植物園で たくさんの蘭の花や 森の湖を船で見て回ったり、おきなわ村で 昔の織物の様子や “しんちゃん” という牛が サトウキビを絞るところをみたりしました。首里城や残波岬の海も見ました。どこにも障害者用のトイレがいくつかあって スロープもあったし 困ったことはありませんでした。ボランティアさんたちも たくさんいたので母は写真も取れたし、とても楽しい旅でした。

大原 友子

**\*春爛漫\*** 春になって、よつばホーム・第2よつばホームとも玄関先が花々でにぎやかになりました。よつばはピオラ、第2はチューリップがメインとなって、色とりどりの花が咲いています。みなさん見に来て下さいね。ミニトマト、ピーマンなどの栽培も始めたので、収穫できる日を楽しみにしています！

## 今月のよつばホーム

### よつばホーム

平日午後4時の会話。

「おかえりなさい」『バレーボール優勝したよ』

“バレーじゃなくてボッチャでしょ”

「ボッチャってなあに？」「床でやるカーリングみたいな感じですかねえ」

“親玉に向かって転がして、近い人が勝ちなの”

『2位だった』 “あれ、さっきは優勝って言ってなかった？”

『優勝したの』 [そう、見に行けばよかった]

『何で見に来てくれないのよお』

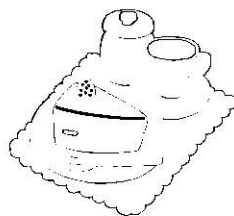
「何はともあれ、飲み物でも用意しましょうか？」

『コーヒーにしようかな』

“私は…紅茶お願いします”

登場人物：高島さん、花岡さん、職員、ヘルパーさんでした。

賑やかに会話が繰り広げられている時、藤田さんは会話を聞きながらカフェオレを飲み、福田さんはお風呂に入っているのです。



### 第2よつばホーム

最近では、気候の変化も激しく、体調管理が難しい時期になってきました。

第2よつばホームでは月に1度訪問看護婦さんに来ていただき、入居者の健康状態を診ていただいています。今回はその時の様子についてお話したいと思います。

「ピンポン」と看護婦さんが到着すると、まず阿部さんは、照れながら職員の方を見ながら「痛い・・・」と突然首あたりを指差します。そんなに突然痛くなったの?!と職員と看護婦さんはつい微笑んでしまいました。心配して欲しかったのかな??

山田さんは体温や血圧を測ってもらって体のストレッチをしてもらいます。気持ちいいのでしょうか、声をあげて看護婦さんの話も聞いているようです。

富岡さんも山田さん同様、体温や血圧を測ってもらってからストレッチ・・・その間看護婦さんの顔をじっと見つめたり、テレビを見ながらリラックスしているようです。

大原さんは、自分で体調のことなどを看護婦さんとお話しています。月に1度でも診てもらえることで安心できるようです。

また来月まで、体調崩さないように・・・職員としても看護婦さんと入居者の様子を話せたり、診ていただくことは安心にもつながっています。